第６号

発行元：豊平地区学校配置検討委員会事務局
（札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課学校配置マネジメント担当）

豊平地区　学校配置検討委員会ニュース

発行
2024 年７月

豊平地区では、旭小学校の小規模化による課題の解決等のため、令和５年２月より「学校配置検討委員会」（以下、「検討委員会」といいます。）を設置し、検討を進めております。

令和６年６月 18 日に第６回学校配置検討委員会を開催いたしました。協議内容につきまして、地域の皆様へお知らせしますので、是非とも多くのご意見をお寄せください。

検討委員会の配布資料等については札幌市教育委員会のホームページに掲載しています。
https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/toyohira.html
※第５回検討委員会の後、計２件のご意見等が寄せられました。第６回検討委員会の資料として検討委員会内で共有しております（上記 HP で公開）。内容に応じた協議の中で参考とさせていただきます。

協議事項１　用地買収を伴って生活道路を拡幅整備する場合の一般的な流れ

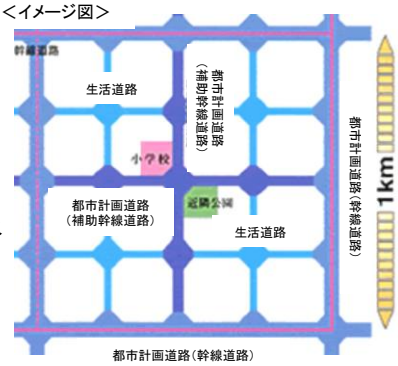
※検討委員会にて、通学路の安全対策として道路の拡幅ができないかとの意見があったため、用地買収を伴う生活道路拡幅について建設局土木部からの説明を受け協議しました。
【当日配布資料３抜粋】※ニュース用に編集しています。配布した資料は公式 HP に掲載しています。

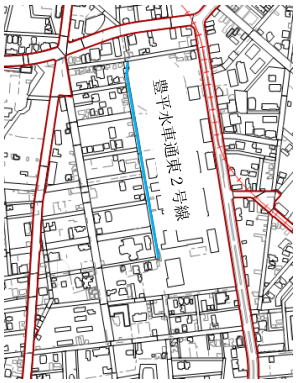
◎ 生活道路と都市計画道路

■ 生活道路
・地域住民の日常生活に利用される道路
・地域内の移動、幹線道路に出るまでの道路

■ 都市計画道路
・円滑な移動を確保する交通機能を持った道路
・都市の基盤となる道路
　≒　幹線及び補助幹線道路

＜イメージ図＞





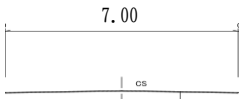
１.事業化に向けた検討

・整備の必要性、予算、大まかなスケジュールについて整理し、市内部の合意形成をはかります。
・多くの他の懸案路線より優先して整備が必要⇒整備効果が高いと言える根拠が必要となります。
✓用地買収の見込みは（地権者の人数等）？
✓施工の規模感・コストは（工事延長・建物の補償費等）？
✓道路の構造は（歩道の有無・幅・未改築等）？
✓地域からの要望は（交通事故の発生件数等）？
✓道路の位置づけは（幹線道路・住区計画等）？
✓道路の利用実態は（通学路・交通量等）？

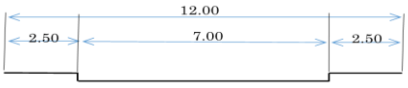
Ａ 既事業化路線（進行中）

◎基本データ
延長：約 390m
通学児童：約 70 人
交通量(12H)：約 1,000 台
既存整備：未改築
事業費：
約３億円（用地補償）
約 1.5 億円（工事費ほか）

整備前

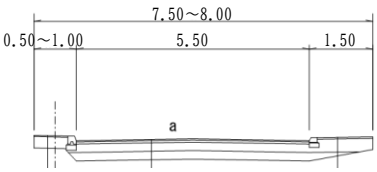


整備後



Ｂ懸案路線＜豊平水車通東２号線＞

整備前



2.地元説明⇒地元合意⇒事業化決定　【１年目】　※【】内は「A 既存事業化路線」の実績

・事業に係る権利者及び関係者の方々に、事業計画案を提示し測量や用地補償の概要説明を行います。

・地元からの合意を得て事業化決定となります。

※用地買収について地権者からの一定の理解が得られている必要があります

3.用地測量⇒道路区域決定　【２年目】

4.用地買収（物件補償）　【２年～６年目】

5.道路詳細設計⇒支障移設工事⇒道路工事　【６～８年目】

※資料は右記二次元コードよりご覧ください　資料３▸

意見・質疑応答の概要

※類似の発言内容をまとめるなど文言を整理して掲載しています。
※「●」・・・委員からの意見、質問等
※「⇒」・・・委員、札幌市・教育委員会職員からの説明、回答

●現在札幌市で拡幅整備が必要と考えている他の道路と比べて、今回事例としてあげている道路は優先順位として、高くなりそうなのか。

●北海学園西側の道路の拡幅についての説明だったが、通学安全の課題となっている道路はここだけではない。他の道路についても安全対策として何ができるのか検討する必要がある。

●地権者の生活もあるので、土地の買収となると長期間必要となるのではないか。資料の事例では約８年とあるが、もしここでやるならもっとかかると思う。

●土地を買収して拡げるのが難しいのはわかったが、電柱を地下に埋設することで道路をもう少し広く使うという方法はできないか。

⇒【建設局土木部】

・様々な条件を総合的に判断する必要がありますが、既に歩道があり、舗装の改築整備も実施済であることなどを考えると、現状で、優先順位が高いと判断するのは難しいです。

・札幌市でも無電柱化の取組を進めていますが、都市計画道路等の幹線道路を中心に徐々に進めているところであり、生活道路の無電柱化はまだしばらく先になる見込みです。

⇒【教育委員会】

・課題となる道路はここだけという意図ではなく、今回の説明に当たっての事例として北海学園西側道路を取り上げさせて頂きました。その他の通学路の安全についても引き続き検討したいと思います。

・過去の統合でも、道路や信号などのハード面を万全に整備するという事は中々できていません。地域での見守り活動や、学校での安全指導などのソフト面での対応を含めて検討・準備をしていく事になると考えています。

協議事項２　これまでの議論の整理と意見書の作成について

※資料は右記二次元コードよりご覧ください　資料４▸　資料５▸

※検討委員会での協議内容を意見書としてまとめるため、検討委員会での意見及びこれまで頂いた保護者や地域等からの意見を整理（資料４）しました。事務局で作成した意見書（案）（資料５）を参考としながら、意見書の内容について協議しました。

●学校校舎の建物としての耐用年数に関して、いつまでに改築や改修をしなければならない、という目安はあるのか。

●先日、旭小学校区内で車と児童の接触事故もあり、保護者は特に通学安全の点で敏感になっている。懸念事項をきちんと洗い出し、よりよい統合に向けて、前向きに協議していきたい。

●現在協議中の内容について、誤った話が広まらないよう、地域で生活している我々委員からも正確な情報を伝えていきたい。

●諸事情により旭水会館の維持が難しくなっている。旭小の一部を町内会のコミュニティの場として借りることはできないか。

●跡活用について、郷土資料館や避難所なども考えてみてはどうか。

●学校がなくなるということではなく、新しい学校を作るという意識で、大きな夢やアイデアをたくさん出し合って、統合校のモデルとなるような学校にできればいい。

⇒【教育委員会】

・学校の校舎は、現状では築 50 年前後で建て替えをしているケースが多いですが、大規模改修を行って 80 年程度使用するという手法もあります。

・統合後の跡活用については、基本的な考え方や、検討できる内容について、次回の検討委員会でお示ししたいと思います。

・意見書の具体的な文言については、今回の協議内容を踏まえ、選択肢をお示しするような形での資料を検討します。

その他　メールや電話で寄せられたご意見について

※資料は右記二次元コードよりご覧ください　資料２▸

●（資料２の地下鉄の１番出口と２番出口を使って平岸通を渡るのはどうかという意見に対し）通勤や高校生、大学生の通学の時間と小学生の登校時間が重なる可能性があり、児童がエスカレーターで遊ぶかもしれないので、かえって危険ではないか。

【協議結果】
◆意見書の内容についてさらに協議し、跡活用についても併せて検討する。

新委員の紹介（敬称略）

所属団体	前委員	新委員
札幌市立豊平小学校	太田　智子	中塚　敦

次回の検討委員会について

▸会 議 名　　第７回 豊平地区 学校配置検討委員会
▸開催日時　　2024 年(令和６年)９月 24 日火曜日　16 時 00 分～17 時 30 分
▸開催場所　　豊平会館（豊平区豊平６条７丁目１-12）
※検討委員のみが参加する会議のため、一般の方は入場できません。内容は後日ニュースレターやホームページでお知らせします。
また、日程は都合により変更となる場合があります。

次回（第７回）検討委員会の議題（予定）

▸第６回検討委員会の振り返り
▸地域や保護者の皆様から寄せられた声の紹介
▸これまでの取組事例を参考とした学校跡活用に関する検討
▸意見書作成に向けた検討
▸その他、当日協議を行う必要があるもの

ご意見、ご質問は、下記事務局までお寄せください。

豊平地区　学校配置検討委員会事務局
▸札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課（学校配置マネジメント担当）
▸電話：011-211-3836　FAX：011-211-3837
▸e-mail：gakkokibo@city.sapporo.jp

検討委員会の開催概要は札幌市教育委員会のウェブページにも掲載しています。
https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/toyohira.html

学校規模適正化　豊平　検索

さっぽろ市
02-S01-24-1553
R6-2-1084
SAPPORO